

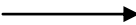
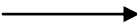












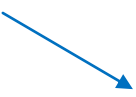





秋冬野菜の生育状況と11月の価格見通しについて（11月1日現在）  
（東京都中央卸売市場に係る主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類	生育は順調。
葉 茎 菜 類	生育は順調。ただし、ねぎについては、後続の関東近在産地が夏場の高温・少雨で生育不良。
果 菜 類	生育は順調。ただし、きゅうり、トマトについては、曇雨天等の影響を受けて生育不良。
土 物 類	生育順調。

品 目	主 産 県 ※（ ）書きは 昨年11月の 入荷シェア。	現 在 の 生 育 状 況 等	価 格 見 通 し	
			11月前半	11月後半
だ い こ ん	千葉(66%) 神奈川(15%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。	→	→
に ん じ ん	千葉(56%) 北海道(26%)	北海道と後続産地である千葉の出荷が重なって、前半は、 <u>出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u> 後半は、北海道の出荷が終了することに伴い、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。	↘	→
は く さ い	茨 城(84%)	豊作基調であり、 <u>出荷数量は平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u> ただし、今後、気温が低下し、鍋需要が増加すれば価格が上昇する可能性。	↘	↘

キャベツ	千葉(44%) 茨城(18%)	豊作基調であり、 <u>出荷数量は平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u>		
ほうれんそう	群馬(42%) 千葉(18%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>		
ねぎ	青森(21%) 秋田(13%)	生育は概ね順調であり、 <u>前半は、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u> 後半は、後続産地である関東近在産地が、夏場の高温・少雨の影響で生育不良となっており <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		
レタス	茨城(69%) 兵庫(9%)	後続産地である兵庫県において、生育期の多雨等で一部に影響はあるものの、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>		
きゅうり	埼玉(33%) 群馬(19%)	夏場の高温で樹勢が低下しており、 <u>前半は、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> <u>後半は、後続産地である西南暖地の生育状況が順調であることから、出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>		
なす	高知(55%) 福岡(15%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>		

トマト	熊本(36%) 千葉(18%)	千葉県において、曇雨天の影響を受けて着果が悪く <u>出荷数量が平年を下回る</u> ため、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。		
ピーマン	茨城(57%) 高知(10%)	作付面積が微増であることに加え、生育は順調であり、 <u>出荷数量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る</u> 見込み。		
ぱれいしょ	北海道(98%)	北海道において収量は平年を上回り、 <u>出荷数量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る</u> 見込み。		
さといも	埼玉(52%) 千葉(18%)	生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。		
たまねぎ	北海道(87%)	北海道において収量は平年並であるが、海外からの輸入が続いており、 <u>出荷数量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る</u> 見込み。 ただし、今後、海外からの輸入動向によっては、価格は平年並になる見込み。	